

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	砂防課長 上野 勉 （太田 吉哉）	内線	4459 （4467）
------	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	2.5 億円
		急傾斜地崩壊対策事業 くりのした 栗ノ下(1)地区	養父市 なかま 中間	内用地補償費	- 億円
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度
養父市 中間				H17	H17
事業目的				事業内容	
<p>防災対策</p> <p>急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の人命、財産ならびに主)養父波賀線、市道、(砂)若杉川を保全する。</p>				<p>急傾斜地崩壊対策事業（防災工事）</p> <p>擁壁工 L = 420m</p> <p>〔 負担割合 国 : 40、45、47.5% 県 : 40、45、47.5% 地元 : 20、10、5 % 〕</p>	
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全安心	<ul style="list-style-type: none"> 栗ノ下地区は、急傾斜地崩壊危険箇所である。 保全人家23戸及び(主)養父波賀線、市道、(砂)若杉川がある。 人家裏の斜面全体は荒廃し、表層崩壊の跡が見受けられ、斜面崩壊の危険性は高い。 				
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 山村部を縁取る緑の斜面は、地域の豊かな景観環境を構成するものであり斜面崩壊防止工事による環境保全効果は高い。 				
地域ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 当該地区は平成15年には斜面の一部が崩壊している。それ以降、がけ周りの住民は不安を募らせており、地元から防災対策の早期対策の要望が出ている。 				
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 保全人家23戸に加えて(主)養父波賀線、市道、(砂)若杉川があることから事業効果が高い。 				
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に向けた地元要望があり、市の協力体制も整っているため円滑な事業執行が可能である。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 待ち受け擁壁工の施工に当たっては、法面掘削を法裾の最小限に抑え、既存斜面の緑を残すことで環境保全に努める。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 斜面は荒廃し、表層崩壊の跡が見受けられ、崩壊の拡大や新たな崩壊の危険性が高く、早急な対策が必要である。 斜面の崩壊により人命(人家23戸)、(主)養父波賀線、市道、(砂)若杉川に被害が生じる。 				